

参加者募集：ベトナム熱帯感染症研修 2017



募 集： 医師 5名
(国立国際医療研究センター 研修医 と指導医の合同研修)

参加条件： ●日本の医療機関に在籍していること
●すでに熱帯感染症の基礎について基本的な学習を終えていること
例：過去に当院の「輸入感染症講習会」を修了している・国内外の感染症研修プログラムで学んでいる
●下記の研修スケジュールにすべて参加できること

内 容： ホーチミン市にある熱帯病専門病院で、1日2回の回診・症例検討・専門医による講義・検査部門の視察・共同ラボの見学等。 現地での使用言語(講義・発表)は英語です。通訳はありません。

研 修：2017年12月3日～12月7日 (以下は予定)
実習中は、毎朝現地の医師等と回診をします。白衣・聴診器等をご持参下さい。
12月2日(日) 東京発 ホーチミン着 夜にホテルでオリエンテーション
12月3日(月) 臨床研修 外来・病棟 講義
12月4日(火) 臨床研修 外来・病棟 講義
12月5日(水) 臨床研修 ラボ見学 中間発表
12月6日(木) 臨床研修 外来・病棟 講義
12月7日(金) 臨床研修 外来・病棟 最終発表 ホーチミン→日本 (深夜発フライト)
12月8日(土) 朝 日本帰国

【参加に必要な費用】 ※支払法は参加決定者にご案内します

- 1) 飛行機：昨年実績 6～9万円(燃料・サーチャージ込)
- 2) 宿 泊：昨年実績 ホテル エクアトリアル(ホーチミン市) 個室 WiFiあり・朝食付き 5泊で7～10万円
- 3) 研修費：5日間 4万円 現地の講師への謝金等諸経費を含む
- 4) その他：現地での食費・交通費(タクシー)は実費

受付開始 2017年10月1日 締め切り 2017年10月21日午前11時。★応募者多数の場合はこれより早く締め切ります。

本研修プログラムは国立国際医療研究センターの研修医・フェローを対象に開催してきましたが、外部からの参加希望の声にお応えし、新たに参加枠を設けることになりました。ご参加お待ちしております。

事務局：国立国際医療研究センター 国立国際医療研究センター
国際感染症対策室(加藤・堀)
TEL 03-3202-7181(代) FAX03-6228-0738 info-dcc@hosp.ncgm.go.jp

ベトナム 熱帯感染症研修 2017

参加申込書(本シートを添付、または下記の内容をメール本体に記載し送ってください)

E-mail info-dcc@hosp.ncgm.go.jp

- 氏名(漢字)
- 氏名(英語)
- 生年月日: 19 年 月 日 ■年齢()歳 ■性別: 女性・男性
- 所属先:
- 所属科:
- 職 位 : 常勤スタッフ 非常勤スタッフ 研修生 (後期、感染症フェロー)
大学院生 その他()
- 基礎知識:
 - 過去に輸入感染症講習会で学んだことがある
 - 国内外の研修で学んだことがある()
 - 現在の感染症トレーニングで学んだことがある
 - その他()
- 出発空港(予定):
 - 成田 羽田 関空 その他()
- 連絡先 住所:
 - 電話: FAX:
 - e-mail
- ベトナム滞在中、お互いの連絡に使用できる携帯電話を
 - もっている→番号
 - もっていない
- 緊急連絡先 氏名: 関係: 電話番号

【参加にあたってのお願い】

- 出発前に必要なワクチン接種を自分の責任で済ませてください。
※麻疹、風疹、ムンプス、水痘、B型肝炎、A型肝炎は強く推奨します。
- 現地でのmeetingおよび研修における集合時間・ルールを守ってください。
- 現地の医療機関で知れた個人情報・症例写真等は漏えいしないようご注意ください。
- 飛行機の手配は各自で行ってください(希望に応じHISによる手配をご案内できます)。
- 毎日meetingを開催するため、**必ず指定のホテルに宿泊していただきます。**
- お申し込みが確定したあとの**研修費のキャンセルはできません**のでご了承ください。
- 旅行保険への加入を強くおすすめします。加入手続きは各自の責任で行ってください。
- 参加記録や写真を当センターの広報などで活用させていただくことがあります。
- ホテル・飛行機のキャンセルは旅行会社規約をご確認ください。

以上についてご理解いただいたうえで、お申込みください。

国立国際医療研究センター 国際感染症センター 国際感染症対策室